

Pesticide Action Network Asia & the Pacific

マレーシアのセラングールにおける 農薬依存型から生態保全型農業に 転換するための研修と活動

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

有機農業に転換した農民 10人

今年度計画の達成度 90%

目標達成度 75%



研修を行った時の参加者全員の写真

課題

マレーシアのこの地域は、コメの主要な生産地であるが、農薬の多使用により、環境汚染が広がり、多くの農民が健康を害している。

目標

農薬による被害の状況を農民自身が知り、そこから脱却して生態系保全型の農業に転換するための研修を行い、農民たちが農薬を使用しない有機農業に取り組むようになる。



今後の
展望

次年度は、近隣の村落で、さらに30人の農民に対して研修を行うと共に、これまでの成果を踏まえて、生態保全型農業への転換の必要性をさらに行政に働きかけていきたい。

活動内容と成果

ザカリアという、自分の農場で生態保全型有機農業を実践している人を講師として招き、農薬が如何に自然環境を汚染し、人体に悪影響を及ぼすかを説明した上で、農薬を使用しないで農業生産を行う方法を農民に教え、これを受講した25人の農民たちの中から、10人が自分で有機実験圃場を設定して、生態保全型有機農業を試みるようになった。また、村落全体でも、共同の有機圃場を設定して、有機農業を実践するようになった。農民の農薬による健康被害は軽減され、有機農法によって様々な野菜や果物が生産されるようになった。



有機堆肥の作成法の研修風景

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

農民が農薬使用を当たり前のことと考えている中で、農薬の使用により、彼ら自身の健康が害されていることを理解してもらおうこと。

■ 工夫した点

村落で、農民から信頼されている人を通じて農民に集まってもらい、農業使用の問題点を含む研修を行った。

| 活動地域 |  マレーシア

54 Lorong Batu Uban Satu, Taman century, 11700, Penang, Malaysia
電話: +604-6570271
<http://www.panap.net>

